

小松教育事務所管内 タウンミーティング

11月4日(土) 能美市辰口福祉会館 交流ホール



子どもたちの生きる力を育むつどい in 南加賀 「LGBTQの児童生徒の存在を認識した学校の在り方と関わり」

最近の教育を取り巻く環境は、家庭や地域社会の教育力の低下、子どもたちの規範意識や公共心の欠如、児童生徒の学力低下など、様々な教育問題に直面しています。

石川県では、教育について県民全体で考える気運を盛り上げる契機として、11月1日を「いしかわ教育の日」また、教育の日にふさわしい取組を集中的に展開する期間として、11月1日から7日までを「いしかわ教育ウィーク」と定める条例を平成17年3月に制定しました。

(「いしかわ教育の日～学校・家庭・地域社会のさらなる連携に向けて～」より)

近年、性的指向等を含め、個々人が持つ多様な背景に関わらず、全ての人がお互いを尊重し、誰もが生き生きとして人生を享受することのできる共生社会の実現が目指されています。

今回のタウンミーティングでは、誰もが「自分らしく生きられる社会」にするために性的マイノリティのことを知り、子供達の誰もが偏見や差別を受けること無く自分らしく過ごせる学校教育の在り方や関わり方について、皆様とともに考える機会をもちました。

◇ 開会挨拶

石川県教育委員会小松教育事務所 所長 二口 英一郎

◇ 講演

「LGBTQの児童生徒の存在を認識した学校の在り方と関わり」

宝塚大学看護学部 教授 日高 庸晴 氏

～講演より～



赤から始まるレインボーフラッグは
LGBT プライドの象徴

LGB (性的指向), T (性自認)
それぞれの悩みや困り感に寄り添うことが必要!



【LGBTQの子どもたちの実態調査より】

- いじめや不登校の経験率が高い
⇒学校が安全な場所でなく、恐怖を感じる場所になっている場合も少なくありません。
- ゲイ・バイセクシュアル男性の64%の子どもが自殺を考え、14%が未遂という現実
⇒自傷行為は繰り返す傾向にあり、自死つながる可能性もあります。
- LGBTについて親へカミングアウトした割合は、10代では30%程度
- 3人に1人は、誰かに相談したかった
- 25%がLGBTについて暴露・バラされたアウティング被害
- 医療機関への受診を控える

特にトランスジェンダーの割合が高い傾向に!

【生徒指導提要の改訂】

令和4年12月、12年ぶりに生徒指導提要が改訂され、その中で、性的マイノリティの児童生徒への対応に関する項目が盛り込まれました。



性的指向と性自認の多様性への取り組みもいじめ対策の一環として不可欠です！

生徒指導提要
(文部科学省)



【性同一性障害に係る児童生徒に対する学校の支援の事例】

(2015.4.30 文部科学省通知)

項目	学校における支援の事例
服装	自認する性別の制服・衣服や、体操着の着用を認める。
髪型	標準より長い髪形を一定の範囲で認める(戸籍上男性)。
更衣室	保健室・多目的トイレ等の利用を認める。
トイレ	職員トイレ・多目的トイレの利用を認める。
呼称の工夫	校内文書(通知表を含む。)を児童生徒が希望する呼称で記す。 自認する性別として名簿上扱う。
授業	体育又は保健体育において別メニューを設定する。
水泳	上半身が隠れる水着の着用を認める(戸籍上男性)。 補習として別日に実施、又はレポート提出で代替する。
運動部の活動	自認する性別に係る活動への参加を認める。
修学旅行等	1人部屋の使用を認める。入浴時間をずらす。

必ず本人の意向を確認して対応する

【教育現場で取り組んでいくこと ※日高先生ご推奨】

- 教員研修の実施
- 啓発ポスターの掲示
- 授業の実施(不規則発言は絶対に放置しない)
- 学級通信で取り上げる
- 先生がLGBTQについてポジティブに発言する
- 保護者会や地域と連携する
- 図書配架(図書室だけでなく保健室等にも)

子どもの“人生を変える”
先生の言葉があります

2021

(研究代表者 日高 庸晴)



学齢期の早い段階で多様性について肯定的なメッセージを受け取り内面化することは、全ての子どもの人権感覚を養う貴重なきっかけになります。



～参加の皆様からの感想や質問より～

- ・非常に勉強になりました。知らないことが多すぎて恥ずかしくもなりました。涙が出ました。まずは、本人に寄り添うこと、話を聴ける大人であることを心に留めて過ごしたいと思います。(保護者)
- ・今回のテーマについて、教育現場でもっと啓発していかなければならないと強く思いました。特に、本人の意向をよく確認して対応しなければならないことや、教員が場当たりのうけをねらって言葉かけをすべきではないことについて、すぐにも勤務校職員に周知し、少しでもいじめや自傷行為の防止につなげていきたいと思いました。(教員)
- ・(質問) 低学年の児童に対してLGBTに関する指導をどうしたらよいか?
⇒(回答) LGBTの直接的なことだけでなく、多様性を認める教育をしていくことが大切。

